

# 南青山サンタキアラ教会

港区南青山

意匠基本デザイン・施設全体デザイン監修＝創建築設計事務所  
壁面緑化・植栽デザイン・施工＝スタイルイズ スティール リビング  
写真＝若林勇人





左頁/南青山に出現した巨大な緑。ゲートの先にある教会が、道行く人の好奇心を誘う。小さな町の入口のよう。上/ランチやスイーツを楽しめるショップが入る。緑に囲まれてランチを楽しむ女性客も多い

まち  
都会に“森に包まれた小さな町”をつくる

都会の中に複合型のウェディング施設をつくるという話を聞いたとき、真っ先に考えたのは“小さな町”をつくるということであった。店舗に挟まれた石畳の小道の先に豊かな緑をたたえた教会がある、そんな田舎の町をつくりたいと思った。

このプロジェクトは、教会を運営するストーリーリア LLC 合同会社のコンペに参加し優勝したものである。その時の提案コンセプトは“Green Veil”。都会の真ん中に、緑に包まれた町をつくるというものであった。一体型のウェディング施設という建築物をつくるのではなく、森をつくることを提案したのである。複合施設でありながら各施設は独立し、緑により繋がっている。この施設において緑は、区分けするものであり

繋げるものである。

緑に包まれた町の象徴として入り口に“パブリックの森”、そして教会の前庭に“プライベートの森”を配し、緑豊かな小さな町とした。

しかし、限られた敷地の中で平面的に森をつくることは不可能である。これまでも限られた敷地に豊かな緑を表現するために壁面緑化を取り入れてきた私にとっては、垂直に森をつくらうと考えることは自然であった。

日頃から緑に関してパートナーを組んでいる長濱氏の協力を得て、クライアントの想像を超えた壁面緑化の提案ができたのではないと思う。ほぼコンペ案どおりにつくられたことを見ても、その完成度は高いものであった。

実はこのコンペには、ある意味開き直って参加したところがある。豊かな緑を実現し維持するためにはメンテナンスが欠かせない。経営面

でそのメンテナンス費を認めるか認めないかですべてが決まってしまうからである。幸いにもストーリーリア LLC は、緑の重要性を理解し採用してくれた。

この施設の壁面緑化はパブリックの森である。社会に開かれた森となるよう壁面を扇形にセットバックさせ“たまりの場”をつくった。通行人に、立ち止まりそして触れてもらい感じてもらうためである。社会に開かれ、繋がりを持つことで、何かしら社会に寄与できたとしたらこんなに嬉しいことはない。

植物は、日々生長し変化する。都市の中で、そんな小さな発見を楽しんで欲しいし、さらには緑が伝播し拡がることも期待している。

談=上田 斉(創建建築設計事務所)



セットバックしたことで巨大な壁面の圧迫感がない。そのことにより人が植物に近づいたり触れたりできる「溜まりの場」となった

- 1 コトネアスター 'ホリゾンタリス'
- 2 ブルーベリー'サンシャインブルー'
- 3 セイヨウハイビャクシン'ウィルトニー'
- 4 カクレミノ
- 5 カレックス'エバーゴールド'
- 6 ハウサンボク
- 7 ビルベリー
- 8 アメリカイワンナンテン 'アキシラリス'
- 9 ビバーナム 'ダビディメティヌス'
- 10 ロニセラ 'ニチダ'シルバービューティ'
- 11 ヒイラギナンテン'チャリティ'
- 12 リョウメンシダ

- 13 アペリア'フランシスメイソン'
- 14 ウエストリンギア
- 15 アスター 'ニチダ'フジスメ'
- 16 テイカカズラ
- 17 ウエストリンギア '黄斑'
- 18 アメリカイワンナンテン'カーリーレッド'
- 19 アセビ'クリスマスチアー'
- 20 メギ'ローズグロウ'
- 21 ヘリクリサム 'ベティオラレ'
- 22 ツルマサキ'エメラルドゴールド'
- 23 ティアレラ
- 24 ハツユキカズラ

- 25 ヒベリカム 'ヒドコート'
- 26 アペリア'エドワードゴウチャー'
- 27 リュウノヒゲ
- 28 ロニセラ 'ニチダ'レモンビューティ'
- 29 シャリンバイ'コーテスクリムゾン'
- 30 デュランタ 'ライム'
- 31 ファツヘデラ
- 32 ローズマリー'カプリ'
- 33 ミニチュアローズ'グリーンアイス'
- 34 ミセバヤ
- 35 ユーフォルビア'ミニマルティニ'
- 36 コトネアスター'オータムファイアー'

- 37 サルコッカ
- 38 ヘデラ 'ヘリックス'
- 39 オオツワブキ
- 40 コトネアスター 'グラウコフィラス'
- 41 カルナ 'ブルガリス'ゴールドヘイズ'
- 42 コトネアスター 'ラクテウス'ゴールデンゲート'
- 43 アメリカイワンナンテン'スカーレット'
- 44 ヤブラン'ゴールドインゴット'
- 45 ツワブキ'浮雲'
- 46 ニューサイラン'サンダウナー'
- 47 ヒイラギ'ブルーエンジェル'
- 48 タイム'レイター'





左頁／不織布に切り込みを入れポケットをつくる。そこに土壌を加え植栽するというシンプルな工法。上／ライトアップにより浮かび上がる壁面緑化は、南青山の新たな名所。下／外観同様、教会内部もシンプルであることがうかがえる。色を添えるのは、新郎新婦(2点写真提供＝創建築設計事務所)



教会がシンプルだけに、緑が重要な要素になる。5年後、10年後を見据えた植栽は、やがて教会を包み込む森へと生長する

### サンタキアラ教会の緑・植栽

このプロジェクトには、コンペの段階から創建築設計事務所の上田氏と組んで参加した。「都市だからこそ緑が必要だ」という彼の考えにかねてから共感し、建築と緑が一体となり、施設のコンセプトを踏まえて限られた敷地を最大限に緑化するという構想ができあがった。

壁面の植栽では、あえて植物のレイアウトを際立たせず、全体がふわりとした優しい雰囲気包まれるようなトーンを大切にしたい。アーチ状のエントランス以外のところはカラーやテクスチャーのコントラストでインパクトを出すのを控え、花が咲くもの、また弓状に生い茂る植物を用いることでより自然に生い茂っている雰囲気をつくり出している。北西向きの壁面のため乾燥や日陰に強い植物を中心に植栽し、加えて花や実、紅葉など季節を感じられる植物を植えている。そして壁面の両サイドには地植えのスペースを確保し、旺盛に這い上がるランブラーロー

ズを植えた。一年に一度可憐なオールドローズのサプライズを楽しめる。

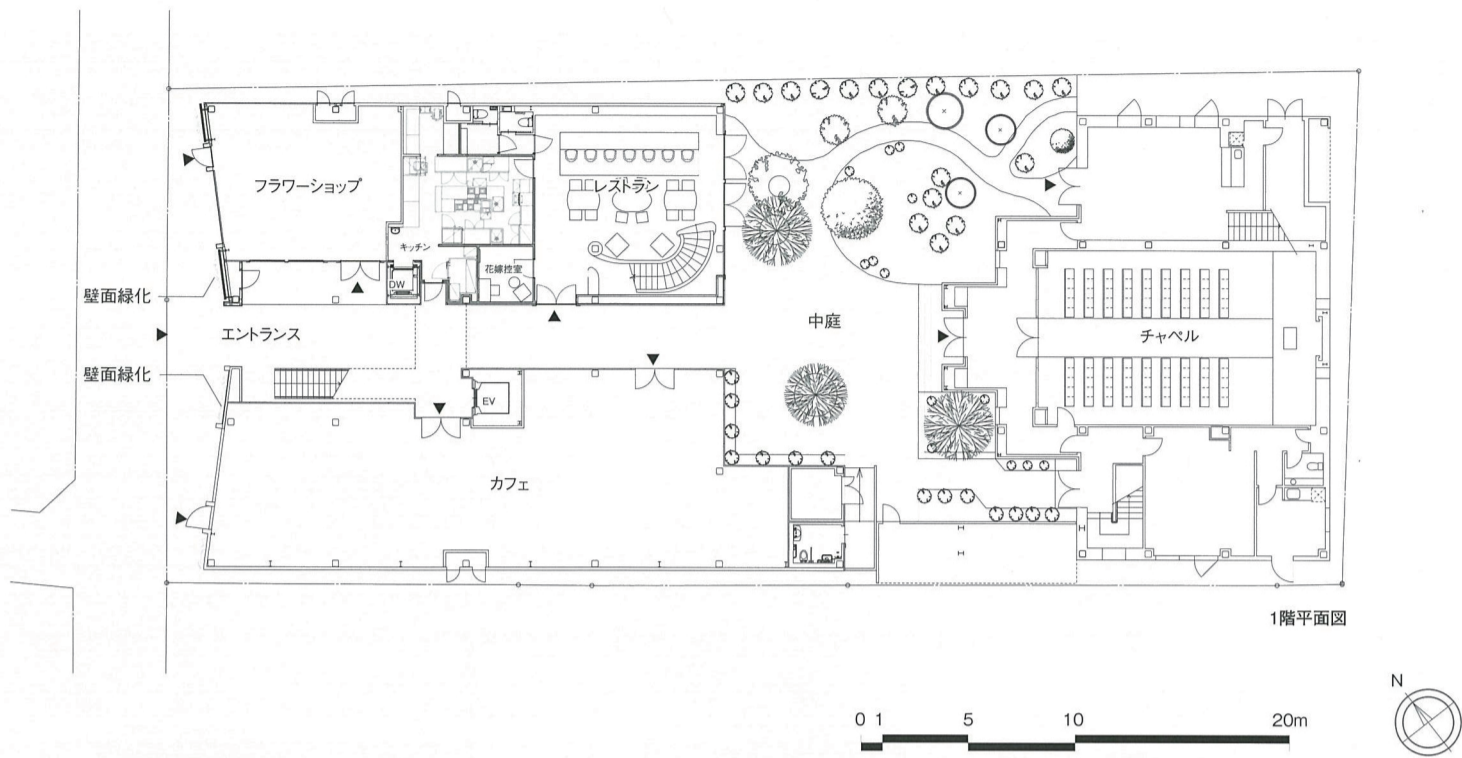
教会前のガーデンは、インド砂岩を敷いたドライエリアの取り方に悩んだ。竣工当初は、広く取りすぎたかなとも思ったが、レセプションパーティで参列者の多くがドライエリアに集まった光景を見て、適切な広さであったことが確認できた。デザインについてはナチュラル感をコンセプトに、ヨーロッパの田舎にある簡素で素朴な教会のイメージを大切にしたい。また、ウェディングは一年を通じて行なわれるので、花や紅葉など四季それぞれ楽しめる植栽を施している。特に高木は樹形が大切な要素になるため、木々が重なり合うフォルムや現場に適したボリュームを求めて生産地へ行って直接選んだものを植えている。

庭は刻々と変化し続ける。日頃からデザインが前面に出ない、自然度の高い空間づくりを行っているが、サンタキアラ教会を訪れた人が自然とともにあるという安らぎと、このガーデンのここが好きとい

うようなささやかな愉しみを感じてもらえたら嬉しい限りである。

談=長濱香代子(スタイル イズ スティル リビング)





左／教会前庭を俯瞰する。インド砂岩の自然なグラデーションが上質な空間をつくる。右／路地を抜けると教会に出会う。ヨーロッパの小さな田舎町の再現。下／豊かに生い茂った植物は思わず触れたくなる。上田氏の目指す「触れられる建築」がここに表現されている



### サンタキアラ教会

所在地 東京都港区南青山  
 用途 結婚式場・店舗  
 運営 ストーリアLLC合同会社  
 監修 意匠基本デザイン・全体デザイン／上田斉（創建築設計事務所）  
 緑化・植栽デザイン／長濱香代子（スタイルイズ スティールリビング）  
 設計・施工 建築／大和ハウス工業  
 壁面緑化・教会前庭／スタイルイズ スティールリビング  
 仕様 壁面緑化／アベリア'フランシスメイソン'、ロニセラ'ニチダ'シルバ'ビューティ'、ビルベリー、ウエストリングア黄斑、ユーフォルビア'ミニマルティニ'、リュウノヒゲ他約48種2,300株  
 教会前庭／ティリア コルダータ'グリーンスパイヤ'、イロハモミジ、ハクモクレン、ツツジ、カシワバアジサイ、常緑ヤマボウシ他